

2022.11.24 (木)
第19回例会
(通算3688回)

2022-2023 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情 そして熱意で」

第85代会長 滝越 康雄
副会長 清水 輝彦
幹事 中島 政徳
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2022-2023 年度
国際ロータリーテーマ



2022-2023 年度
R1会長 ジェニア・ジョーンズ
第2500地区ガバナー
久木 佐知子 (旭川西 RC)

月間テーマ	経済と地域社会の発展月間
本日のプログラム	会員卓話「荒井 剛委員長のお話」(担当:米山記念奨学会委員会)
次週例会	年次総会(担当:理事会)

- ロータリーソング：四つのテスト
- ソングリーダー：柿田 英樹君
- 会員数 104名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間

清水 輝彦副会長

皆さん、こんにちは。滝越会長がお休みということで、滝越会長からは「何を話してもいい。任せよ」ということでしたので、すぐ考えてしまいました。

実は、滝越会長を隣で見ていると、メモのところにきちんとあらすじが書いてあって、本を読んで調べて緻密にやっておられます。僕も聴きながらメモを取って気になることをチェックしますが、前回の話題は日本のロータリーの戦時下のことで、一時ストップをした話やそれと絡んでアメリカの話などがあって、すごく気になっていて、僕も調べようと思いましたが、今日はまだネタになっていません。

脇さんが会長時代に毎回きちんとロータリーのことをいろいろ話して下さったこと、いまでも僕は印象深く覚えております。私はあの当時、会報を担当していて毎週、原稿を見せていただきながら、もう一度噛みしめて読む楽しさを覚えております。ありがとうございました。

昨年、副会長の浅川さんの時にもこのようなことがあり、この時は自己紹介をされていました。僕もそれをやろうかと思いましたが、好きな話や音楽の



話は別の機会に取って置こうと考えました。ふと気になったことは、このようなご時世だからではないですけど、コロナ禍のメンタルヘルスのことをお話しさせていただきます。

もうかれこれ3年近くになります。外来でもコロナが直接の原因で調子やメンタルを崩した方、そうは来ていません。ごくまれに「コロナ妄想」といって、コロナと絡んで被害妄想みたいになっている方や、自分がコロナで攻撃を受けているという妄想、逆に自分が害を与えているという方がたまに來ますけれども、多くの方は、そのようなことはあまりなく言えることは、皆さんは疲れています。話を聞くと「友だちに会えない」「人に会えない」「好きなことができない」ということで疲れていることが分かります。

これは僕自身もそうで、好きな演奏会に3年近く行っていません。オンラインで聴こうと思ったら聴けますけれど、会うことの必要性を分かっていた。ある弦楽四重奏団からずっとお誘いを受けていましたけれども、今年の6月にご招待を受けて、2年ぶりにこっそり東京へ演奏会に行ってきました。医者立場で良いのかということもあったし、ウチの職員の手前、行っていいのかと思いましたが、やっぱり行って正解でした。

ほんとに数年ぶりに会って、お互いの元気な顔を見て「どうしていた」という話から始まり、小さいけれど打ち上げもありました。そのようなところで再会をし

て元気をもらって帰って来ました。
ということがあって、このお盆に、うちの患者さん何人かから「久しぶりに親戚に会いに行こうかな」と相談を受けた時、医者として言っているのか思いましたが、僕は迷わず「行け」と言いました。「その代わり、感染には十分気をつけてよ」と。

だいたいお気遣いされる方は皆さん人にうつさないし、自分はうつらないためのことを十二分に考えています。「100人で大宴会をやろう」「大勢でお風呂に入って大騒ぎしよう」と思う方はいないので、まず問題はないだろうと思っていました。皆さんは帰って来て、いい顔で「先生、楽しかったです」「久しぶりに会って元気をもらって来ました」とすごく元気になっていました。

皆さまもお疲れだと思います。中には立場上、そのようなことができない方もいらっしゃるかと思いますけれども、自分なりの少しの息抜きを考えて、それが例えば美味しいものでも良いと思います。山の奥に1人でこもって温泉でのんびり、ちょっと都会の空気を吸いたい、など何でも良いと思います。そのようなことで元気を取り戻されて、また活躍されたいと思っています。

会長のお話、いろいろ考えましたけれども今日はこのようなところで終わります。

それから、これは蛇足ですが、私の父の状況について皆さま方が気になさって、お声がけをいただいています。これについては会長の席ではなく、別な時にご報告を差し上げたいと思っています。

今日は、どうもありがとうございました。

幹事報告 中島 徳政幹事

幹事報告をさせていただきます。

他クラブの例会につきましては、テーブルの例会案内をご参照いただければと思います。

先週、撮影しました台北中央ロータリークラブ創立記念のお祝いコメントですが、水口委員長に加工をいただきましたので、台北へメール送信させていただきましたので、ご報告します。

また、来年の話になります。11月20日に『会長・幹事会』がありまして、今後の日程等が発表になっております。関係のある部分だけお話をさせていただきます。

『次年度ロータリー財団補助金管理セミナー』が今週末27日(日曜日)に旭川であります。昨年はZoomでしたが今回はリアルということで、エレクトには旭川までご足労をお願いしたいと思います。

それから、第7分区のIMが5月13日(土曜日)に決定しました。白糠ロータリークラブの主催、音別ロータリークラブの共催で行われます。白糠町の社会福祉センターで行うことから、いまJRの戸川支社長

をお願いをして、列車を貸し切って、わがクラブ全員で移動する計画を立てております。5月13日(土曜日)はぜひ皆さんのご予定を空けていただければと思います。

それと、『ロータリアン・マスターズゴルフ大会』は5月21日、午前8時スタートで、釧路カントリークラブ東コースです。西ロータリークラブがホストクラブで決定しております。

それから、『飲酒運転撲滅及び交通安全防止キャンペーン・パークゴルフ大会』です。こちらはベイロータリークラブが主催し、6月3日(土曜日)、阿寒の里パークゴルフ場で行われると予定が決まっておりますので、ご関係のある方、参加できるという方、後ほどご案内申し上げますので、スケジュールを空けていただければと思います。

本日の例会プログラムについてです。先ほど司会からご報告しましたけれども、『外国人の留学生の受け入れの楽しみ方』ということで、米山記念奨学会委員会担当で、釧路町の佐々木洋平様にお願いをしておりましたが、「体調が優れない」と2日前にご欠席のご報告を受けております。そこで米山記念奨学会委員長の荒井さんにご相談したところ、「僕が何とかしてあげるよ」ということでしたので、今日の例会は荒井委員長のオンステージで行わせていただきたいと思います。以上です。

■本日のプログラム■ 会員卓話「荒井 剛君のお話」

米山記念奨学会委員会 荒井 剛委員長



皆さん、こんにちは。突然お話しをさせていただきますことになりました。先ほど中島幹事から説明がありましたが、私が親しくさせていただいている釧路町議をされている佐々木洋平さんが外国人をここ何年もホームステイで受け入れていらっしゃるの、その楽しみ方、どのようなことが楽しいかをお話しいただこうと前々からお願いをしていたところ、2日前に突然「発熱をして、例の流行の病気にかかりました」と連絡をいただきましたので、昨日慌てて私で何かお話できるかをちょっと考えて参りました。

私はいま、変なものを持っておりますが、これはサイコロです。私がどの程度お話しできる時間があるのか分からなかったので、題して『ひとりサイコロトーク』として、お話しできる題目を6つランダムに用意させ



ていただきました。今日は会長がご欠席ですので、清水先生にサイコロを振っていただき、出た番号にそった話をしようと思っております。

では、お話できるかもと思いましたが題名だけまず読みます。

1. 最近ハマっていること。
2. 弁護士になったきっかけ。
3. 好きな食べもの。
4. お薦めの裁判映画。
5. 最近びっくりしたこと。
6. 最近期待していること

このようなタイトルを作ってみました。同じサイコロの目が出た時はパスをさせていただくかもしれません。いま、1時10分ですので、20分弱お時間を頂戴します。早速ですが清水先生、サイコロを1回振ってください。

(清水副会長サイコロを振る) 4番、おすすめの裁判映画。

一番地味な感じがしますが、分かりました。いろいろお薦めの裁判映画はたくさんあります。これも昔の有名な映画で多分ご存じの方、ご覧になった方がいらっしゃると思います。ヘンリー・フォンダが主演した白黒の映画です。これはカラーで写っていますが、元々は白黒で『十二人の怒れる男』です。

日本でも裁判員裁判制度が10年くらい前に始まりました。これは12人の陪審員がある殺人事件の青年を有罪か無罪かをみんなで議論して決める、裁くというシンプルな話で、1時間40分ぐらいです。

ずっとひとつの会議室で陪審員が話をしているものです。ある1人の若者がスラム街の中で、1人の人を殺してしまった罪で裁かれようとしています。陪審員のみんなは、早く帰りたいということで、「だいたい証拠も揃っているし『殺してやる』という声も聞こえたから、これはもう有罪に決まっているじゃないか」ということで、皆さんの意見を聞いたら11人がワーツと「有罪」「有罪」と言ったところ、ヘンリー・フォンダさん1人だけが、「まだ早いのではないか。いろいろ議論をしてから進めていこう」と言うところから始まって、どんどん議論をして最終的には12人全員が「無罪」という結論になるという映画です。

これはかなり昔の映画で、名作と呼ばれていますが、この映画はリメイクされています。アメリカでも、他の国でも作られています。今日は他の国のもうひとつの映画をご紹介します。

これは、どこで作られたかというロシアです。ロシアの監督が作ったもので、これは2008年度アカデミー賞外国語映画賞ノミネート作品にもなっています。タイトルは全く同じ『十二人の怒れる男』。設定

もあるひとりの青年が義理の父親を殺してしまった罪で疑われ、みんなで議論をするところから始まります。この青年はチェチェン人です。これは、先ほど紹介をしたアメリカ映画とちょっと違うロシアの事情が絡むところがあります。最後まで映画を観ると「なるほど」となりますが、簡単にお話をします。

スタートは全く同じです。同じように早くみんな帰りたい。「これはもう殺人を犯したに決まっているでしょ。どうせチェチェン人だから」という人種差別的な発言もあり11人全員が有罪。

1人だけ「ちょっと待とうよ」と言うところで議論を始める。それぞれの生い立ちやロシア特有の事情が絡んでいる、というお話をみんなでして、最終的にこれも12人無罪になります。

これはもうネタバレかもしれませんが、お話をします。11人みんなが「無罪」「無罪」となっていて、最後の1人も映画を観ると当然「無罪」と思っていたけれども、「どう何だ、君は」と言われた時に「有罪です」と話します。これがロシアならではの、とっていました。なぜかという、無罪になってしまうと釈放されてしまうこのチェチェン人の若者は多分、外に出てしまったら殺されてしまう。だから、もう一度みんなで議論をして最終的には無罪になり、この子を守ろうという話になりました。そのような背景事情がすごく面白いと思ったので、ぜひオリジナルの『十二人の怒れる男』、ロシアの作品は最近でこそレンタルDVD屋がどんどん減って、無いかもしれませんが、私はこれをアマゾンの中古DVDで2,000円ぐらいで買いました。もしかしたらGEOなどで借りられるかもしれませんが。これは一度観ていただいても良いのではないかと思います。

これは、ご存じかもしれませんが、パロディに近くて中身は結構面白くて真剣です。これは日本のもので、いまNHKの大河ドラマの脚本もそうだったと思いますけれど、三谷幸喜さんが昔に作った映画です。『十二人の怒れる男』をパロディにした『十二人の優しい日本人』という作品です。これもDVDにもなっていますのでご覧いただくことは可能です。

これを元にした舞台もされています。一度舞台も観に行きたいと思っている作品です。こちらは逆にスタートの時点で、みんな無罪で良いのではないかといいところから始まって1人だけ「ちょっと待てよ。きちんと議論をしようよ」というところからスタートするので、ちょっと変わっていますけれども、これはこれではなかなか面白いと思います。



最後にひとつだけ、ご存じと思いますが陪審員と裁判員の違い。これはもう決定的な違いがあります。陪審員は、先ほどの2つの映画もそうですし、この『十二人の優しい日本人』も陪審員制度を元にして



です。陪審員というのは、有罪か無罪かだけを決めます。それに対して日本の裁判員裁判制度は、有罪・無罪だけではなくて、有罪の場合には懲役何年にするのか。無期にするのか。あるいは死刑にするのか。つまり「量刑」も決めるのが日本の制度です。これは、世界の国民が参加する裁判制度と比べると大きな特徴となっております。これが良いか、悪いか分かりませんが、日本の裁判員裁判は諸外国の陪審員裁判とちょっと違うということをお伝えさせていただきます。

次のサイコロをお願いします。

(清水副会長がサイコロを振る) 5番、最近びっくりしたこと。

私は昨日の夜、まさか日本がドイツに勝つと思っていませんでした。あれにはびっくりしましたし、多くの方がご覧になったかと思います。

最近、びっくりしたこと。ちょうど2カ月ぐらい前だったと思います。旭川に弁護士会の行事で行くことがあって、その帰り、少し早めに切り上げようと午後3時ぐらいに旭川を出て、一車線の道路を釧路へ向かっている最中で、まだ旭川市内の時。なんと対向車がこちらの方にはみ出して私の車にぶつかってきました。せっかく早く帰ろうとしたところを、帰れずにその場から保険屋さん・警察・レッカー車へ連絡をして、レンタカーを借りてプリウスに乗って釧路に着いたのが夜中ということがありました。

あれは、びっくりしました。対向車線からはみ出してくることは、よく交通事故に遭う人に聞いていたけれども、自分が事故に遭うとは思っていませんでした。

たまたまサイドミラー同士がぶつかったので、私自身にはケガはありませんでした。ちょっと間違っていたら多分死んでいたかもしれません。ジャガーの右サイドミラーが吹っ飛んでしまい、「部品が届くまでかなり時間がかかる」と言われて、先々週にようやくジャガーが戻って来ました。

仕事柄、例えば対向車線をはみ出た人が、「こっちも悪いじゃないか」と言って来た場合どうでしょうか。これは対向車が出て来たのだから100対0で向こうが悪いですよ。そこで「あなたも出て来たじゃないか」と言われたら困るので、そのためにあるものが「ドライブレコーダー」です。最近、いろいろ流行っている

と思いますが、各損保会社が「ドライブレコーダーを付けて、保険会社へ24時間送信します。いつでも記録できます」みたいな謳い文句があったので、それは良いなと思って9月から付けていましたから、「よしよし」と思っていました。「レッカー車で運ばれても、自宅からリモートでそのドライブレコーダーが見られる」と言うから見てみたら、直近の5件ぐらしか保存されていませんでした。私が手で記録ボタンを押さなかったこともあって、随時更新されていて、5件がすべて修理工場内の写真しか写っていませんでした。せっかく保険に入ったのに何なのだ、これはやばいと思っていたら、この新しいドライブレコーダーを付ける前に付けていたドライブレコーダーがもう1個あって、それを外そうか迷っていましたが、そのままにしていたことが良かったのです。そのドライブレコーダーに入っていたメモリーカードがあったので、いざという時にこれは証拠になるでしょう。

びっくりするような映像ではありませんけれども、そのメモリーカードを持って来ていますので、見ていただこうと思います。これがジャガーから写している映像です。これです。これ(事故当時の映像)、何が何だか分かりませんでした。このような短い動画でしたけれども、ドライブレコーダーに残っていたことで、結果は100対0で、相手が全部負担をしてくれたので事なきを得ましたが、このようなことでびっくりしました。

ドライブレコーダー見たら全部修理工場だったことにもびっくりしましたけれども、この事故自体にびっくりしました。これで最近びっくりしたことのお話は終わります。

もう一度サイコロをお願いします。

(清水副会長サイコロを振る) 1番、最近ハマっていること。

これは7分で終わらないかもしれませんが、その中でお話したいと思います。

私はあちらこちらへ出かけることが好きな方でしたけれども、ここ数年ずっとコロナだった関係もあってそれができないため、1つ目は今年の春すぎからランニングを始めました。先日、小船井さんから「毎朝5kmぐらいランニングをされている」とお聞きしましたが、私も今年の5月すぎぐらいから毎日5km~7kmぐらいを走ることにしています。私は高校生の時に陸上部でした。クロスカントリーというものがあるのですが、冬のクロスカントリーではなく、山の中で4.8kmを走り回る競技をやっていて、毎日10km~20kmを走っていた時期がありました。それからずっと走っていかなくて、そろそろ走ろうかと思って走り始めました。走り始めて、せっかくなので今年の7月末に行われた「釧路湿原マラソン」の10kmに20年ぶりに挑戦しました。釧路でちょうど観測史上一番暑かった日が今年

の湿原マラソンの日で、倒れそうになりましたけれども走ることができました。

その時の写真はありませんが、20年前の2002年、私は釧路に初めて来ました。2001年に司法試験に合格して2002年の7月から研修所に修習生の資格として配属されて、2002年6月30日に釧路に降り立ちました。その1カ月後に釧路湿原マラソンがあったので、何かのイベントに参加したいと思って参加したのが20年前の釧路湿原マラソンでした。

その時の写真を皆さんが見ても「だから、何だ」と思うかもしれませんが、自分が見ても随分若かったと思う20年前です。真ん中がいま一緒にやっている久保田です。これが20年前の写真でした。この時は10kmを完走しましたが、当時コースが全然分からなくて、いと違って、多分「3kmのコースを3回ぐらい回って10km」というものが昔のコースだったらしいです。私は全く分からなくて、最初の3kmをすごく飛ばして1周終わった時点で本当にフラフラになって、もうゴールかなと思ったら「あと2周です」という看板を見て死にそうになった記憶があります。

それから20年、ちょっと真面目に走ろうと思って走り始めて、今年の7月末の釧路湿原マラソンの10kmを完走しました。その後も走り続けています。

10月末に、今度は十勝で「2022 フードバレーとかちマラソン」がありました。それは21kmのハーフマラソンです。それも何とか無事に走って参りました。この後の私の目標としては、来年7月に釧路湿原マラソンの30kmを完走し、さらに来年12月には私の勝手な希望ではありますが、初マラソンとして「ホルルマラソン」を走りたいと思っております。もしご一緒に行っていただけの方がいれば、ぜひ12月走りたいと思っております。それが最近ハマっていることです。

もうひとつ、ランニング以外にハマっていることがあります。これは昨年からはじめていますけれども、バードウォッチングをやっています。

私の友人にバードウォッチャーの2人がいて、よく3人で飲んだり食べたりしています。その2人がいつもバードウォッチングの話をして、私はかなり冷やかな目で「また話をしているよ」という思いをもって話をしていたのですが、そこまで言うのであれば一度行こう

かと思って、まず良い双眼鏡を買おうと思い、アマゾンで40,000円ぐらいの双眼鏡を「買っちゃえ」と思って買って、その2人と一緒に毎週火曜日の朝5時30分に春採湖に集合して観察をすることを1年間行って参りました。いまは2年目に入っていて、これにすごくハマっています。

何枚か写真でハマったきっかけの鳥をお見せしたいのです。すごく小さくてかわいらしい鳥、これは「ミソサザイ」という鳥ですが、この鳥は森林公園で見かけます。冬になると地べたにたまにいるくらいで、ほとんど見られないのです。この鳥がなぜ良いのかと言いますと、聞いてください、このさえずりを。まさか例会で聞くとは思っていなかったと思いますけれども、動画もあるので観ていただきたいと思います。(ミソサザイのさえずり動画を観る)聞えますか。この小さい体でいまみたいな、まあまあ長いのを鳴きます。これがかわいくてしょうがないところにすごくハマりました。見る鳥、見る鳥、「これは何という鳥だ」と図鑑を買って春採湖に見に行きました。私が住んでいる別保の奥に素晴らしい森の森林公園では、このミソサザイをはじめキビタキなどたくさんの貴重な鳥を見かけることができます。ここの森林公園で、このクマゲラを見ることができました。これは私が初めてカメラを持った時に出会って撮った鳥の写真で、天然記念物のクマゲラも見ることができました。

このように3人で1年間観察をしたことをいろいろ話したところ、

k-Biz (ケーbiz) のいそべさんという女性がこの話に興味を持っていただきまして、「3人のオヤジがバードウォッチングをしている」ということで『観察日記』を出版しました。限定物ですけど、普段は売っていません。佐藤紙店で何部か売っていましたが、もう完売して無くなってしまいました。もし増刷をすることがありましたら、いらないかもしれませんが皆さんにお渡しできればと思います。

以上、私が最近ハマっていることでした。他にもお題目は用意していましたが時間もなりましたので、これで終わらせていただきます。

どうもありがとうございました。

本日のニコニコ献金

■工藤 彦夫君 在籍20年のバッジを頂きました。ありがとうございます。

■東堂 光春君 ナユタの会で年間優勝することが出来ました。連覇目指して頑張ります。

今年度累計 118,000円